

令和3年5月10日

上越市長 村山 秀幸 様

中郷区地域協議会会長 竹内 靖彦

勝馬投票券場外発売所立地関連地域振興基金の活用による  
「未来の子ども達がいつまでも住み続けたいまちづくり」についての意見書

市長におかれましては、人と地域が輝き、活力のある持続可能なまちづくりの推進に日々ご尽力いただき深く感謝申し上げます。

さて、本基金の取扱いについては、「基金条例に規定する用途目的の事業に、基金残額の全てを充当した上で条例を廃止するとともに、交付金を一般財源化する」と市から方針が示されております。

これを受け、当地域協議会では市の方針を基本的に容認する形を取り、用途目的の事業に中郷区における地域課題の解決を図るべく、地域住民の意見も聴きながら基金の活用策を自主的審議事項において審議してまいりました。

まず、平成30年度から「二本木駅を核とした地域活性化」をテーマとした事業への活用を審議し、令和元年度に「二本木駅前トイレの改築」、令和2年度に「駅前駐車場の改修」を行い、実を結んでまいりました。

引き続き新たなテーマとして「未来の子ども達がいつまでも住み続けたいまちづくり」への活用について地域協議会での協議はもちろん、小中学生や学校関係者、また、地域住民との意見交換会を経て、このたび一定の結論を導き出したところであります。

つきましては、下記事業への基金残額活用をもって本審議に区切りをつけたいと考えております。令和4年度に実施していただきたく要望します。

記

【1 夕日ヶ丘整備事業】

中郷小学校の校庭にある丘を夕日ヶ丘と呼んでいる。ここには遊歩道が整備されており夏場のランニングや冬場のクロスカンリースキーコースとして利活用しているほか、小川未明から贈られた詩が彫られている石碑などが設置されており、子ども達の休み時間の遊び場や語らいの場となっている。

しかし、遊歩道が経年劣化により段差や起伏が大きくなってきているほか、植樹が老木や枯木となっているものもあり、倒木による危険性が高まっていることから整備を行い安全確保と利便性の向上を図るもの。

【2 桜の植樹事業】

旧中郷村の象徴の花木である“桜”を守り育てて将来に残していくため、各所の老木や枯れた桜を植え替えるもの。

【3 縄文公園整備事業】

縄文遺跡の宝庫である中郷のシンボルとして整備された公園であるが、施設が経年劣化してきている。縄文時代の暮らしや文化に触れ、改めて中郷の歴史を考え楽しんでもらえる施設とするため、整備するもの。

【4 講演会事業】

子ども達の心に残る事業を実施し、将来の夢や希望に向かって進めるよう、また、成長のきっかけとなるような講演会を行うもの。

以上、「未来の子ども達がいつまでも住み続けたいまちづくり」の具現化を図るため、市からご理解ご協力いただきたく意見書を提出します。